

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 8	2	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 85	80	ヘルパンギーナ	↘ 1	8
咽頭結膜熱	↗ 39	32	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 6	2
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 55	70	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 402	332	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 14	18
水痘	↗ 33	26	細菌性髄膜炎	↗ 2	0
手足口病	↘ 32	41	無菌性髄膜炎	↘ 1	3
伝染性紅斑 (りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発しん	↘ 40	44	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)*	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性連鎖球菌感染症

- 感染性胃腸炎 報告数:402件(前週:332件)
地区別:菊池、人吉、有明
年齢別:1歳 86件(21.4%)
- RSウイルス感染症 報告数:85件(前週:80件)
地区別:宇城、八代、菊池
年齢別:1歳 31件(36.5%)
- A群溶血性連鎖球菌感染症 報告数:55件(前週:70件)
地区別:菊池、宇城、人吉
年齢別:5歳 12件(21.8%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	6	26	15	13	63	1	4	0	19	0	0	1		13	2	1			
山鹿保健所	0	0	0	0	11	1	6	0	0	0	0	0	*	*					
菊池保健所	2	15	24	26	103	14	16	0	7	0	0	2		1					
阿蘇保健所	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	*	*					
御船保健所	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	*	*					
八代保健所	0	15	0	2	41	3	1	0	4	0	0	0							
水俣保健所	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2	*	*					
人吉保健所	0	3	0	4	49	4	0	0	0	0	0	0	*	*					
有明保健所	0	4	0	1	80	2	4	0	2	0	0	0					1		
宇城保健所	0	19	0	7	28	7	0	0	3	0	0	0	*	*					
天草保健所	0	1	0	2	7	1	0	0	5	0	1	1							
計	8	85	39	55	402	33	32	0	40	0	1	6	0	14	2	1	1	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	8		1		1		1		1	1			2	1								
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	85	20	19	31	10	3	1		1													
咽頭結膜熱	39		2	10	4	10	4	2	1	2	1	1	2									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55			1	6	4	4	12	10	4	3	5	4	2								
感染性胃腸炎	402	7	27	86	47	38	35	42	27	10	10	11	32	8	22							
水痘	33		3	5	11	8	2	3		1												
手足口病	32		1	6	13	3	5	1	2				1									
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	40		19	20			1															
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	1																					
流行性耳下腺炎	6			1	1		2	1	1													
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	14			2			1			1						5	4	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	2						1									1						
無菌性髄膜炎	1			1																		
マイコプラズマ肺炎	1		1																			
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 菊池

感染性胃腸炎の
流行が近づいて
きています

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスによって起こる胃腸炎の総称です。冬に流行する感染性胃腸炎の原因は主にロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルスが中心です。例年、10月から11月にかけて流行の立ち上がりが見られ、その後急速に増加し、12月~1月に流行のピークがやってきます。今週に入り、県内の感染性胃腸炎報告数は402件と増加してきました。地域別に見ると菊池では定点あたりの患者報告数が警報基準を越えました。人吉、有明でも定点あたりの患者報告数がそれぞれ増加しており、本格的な流行が近づいてきています。

ノロウイルスは、感染者との接触などにより人から人へ感染するほか、食品を汚染して食中毒の原因にもなります。感染した人の吐物や便には多量のノロウイルスが含まれており、感染力が強く、少量の菌でも感染を起こすので注意が必要です。現在のところ、このウイルスの効果のある抗ウイルス薬やワクチンはありませんので、予防が大変重要です。

以下のポイントを参考に、予防をしっかり行って流行の拡大を防ぎましょう。

【予防のポイント】

- ①最も大切なことは、手を洗うことです。トイレにいった後、調理や食事の前には必ず流水と石けんを使って手を洗いましょう。
- ②加熱が必要な食品は、中心部まで十分に加熱を行いましょう。
(85℃1分以上の加熱で、ノロウイルスの感染性はなくなるとされています。)
- ③感染者の便や吐物を扱う場合には、周囲に感染を拡げないように使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、衛生的に処理するようにしましょう。また、処理後は必ず十分に手を洗いましょう。
- ④下痢や嘔吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

